

# 熱い気持ちをもった 就農をめざす人 大募集!

令和8年度  
大阪産(もん)  
スタート  
アカデミー

## 3つの特徴的なアカデミーを開講

- ・有機農産物アカデミー
- ・いちごアカデミー
- ・水なす+きくなアカデミー

### 大阪産(もん)スタートアカデミーとは

「いつか農家になってみたい」と思っている、仕事が忙しい、農地がない、農業とつながりがないなど、なかなか一歩を踏み出せない方も多いのではないのでしょうか。

そこで、みなさまに受講いただきやすい品目特化型の研修プログラムを実施します。地域のベテラン農業者による栽培指導と、専門講師等による座学研修により、就農に必要な知識・技術を習得できます。

さらに、研修終了後は関係機関と連携して就農に向けた支援を行います。大阪府内での就農を考えている方はぜひお申込みください。



## 大阪産(もん)スタートアカデミーの主な内容

各アカデミーで品目特性に応じた栽培実習と座学研修  
全アカデミー共通研修 農薬適正使用、就農に向けた支援策  
などを予定

## 実施期間

有機農産物・いちご  
令和8年7月から令和9年3月  
水なす+きくな  
令和8年10月から令和9年3月

### 受講要件

18歳以上  
大阪府内で就農する意思のある方

### 修了要件

研修出席率、原則90%以上  
(実習受入農家の意見、受講生の  
取組姿勢等から総合的に判断します。)

### 受講料

33,000円(税込)

### 応募方法

チラシ中面を確認し、  
メールまたは応募フォー  
ムから応募する

## ○ Step1

希望する  
アカデミー  
を決める

## ○ Step2

募集要項を確認し、  
事前説明会に参加  
(いちご・水なす+きくなのみ)

## ○ Step3

申込

## ○ Step4

面接

※選考により受講の  
可否を決定します

### 募集期間

有機農産物 5/25から6/15  
いちご 5/25から6/25  
水なす+きくな 8/3から8/31

# 大阪産(もん)スタートアカデミーの流れ



## 各アカデミーの紹介

有機JAS農業者から学ぶ!

### 有機農産物アカデミー

募集人数:5名程度

有機農産物アカデミーでは地域のベテラン農業者や各講座の専門家等により、栽培技術や農業経営の知識等を学べます。化学肥料や農薬を使用せず栽培する技術や有機農産物の販売戦略など、総合的に学ぶことができるので、農業経験のない方でも就農をめざすことができます。



実習の様子

#### 栽培実習

は種、定植、収穫、ほ場管理、病虫害防除、出荷調製等  
有機農産物栽培全般

全23回程度  
(原則土曜日、3時間/日)

有限会社北摂協同農場等  
(能勢町山辺または倉垣周辺)

#### 座学研修

植物生理、営農計画の作成、  
販売戦略など

全10回程度  
(土曜日又は日曜日中心  
2時間程度/回)

能勢町又は茨木市及び  
大阪市内会議室(予定)

#### 面接

【日時】

令和8年7月5日(日曜日)

【場所】

大阪府三島府民センタービル 4階  
第1会議室(茨木市中穂積1-3-43)



HP(募集要項)



有機農産物アカデミー  
応募用メールアドレス

#### 問い合わせ先

北部農と緑の総合事務所農の普及課

【MAIL】 [hokubunotomidori-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:hokubunotomidori-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp)

【TEL】 072-622-3435

美味しいいちご作りのプロから学ぶ！

# いちごアカデミー

募集人数:5名程度

いちごの栽培方法や加工など、いちごに関する様々な分野を学ぶ座学研修と、地域の農業者が直接指導する実習を組み合わせた実践的なカリキュラムです。いちごアカデミーを通じて、H30年度から20名以上が南河内地域(千早赤阪村等)で独立就農しています。



実習の様子

## 栽培実習

育苗ほの管理について  
本ほの管理について  
収穫、出荷調製

全30回程度  
(原則水曜日、2時間/回)

河南町または千早赤阪村の  
農業者のほ場



HP(募集要項)

## 座学研修

植物生理、農業経営、品種、加工、  
営農計画の作成など

全20回程度  
(原則、水曜日 1時間程度/回)

南河内府民センタービル(予定)



いちごアカデミー  
応募フォーム

## 事前説明会

(申込には事前説明会への参加が必須です)

令和8年6月10日(水曜日)13時半から16時半  
令和8年6月17日(水曜日)13時半から16時半  
現地ほ場(河南町及び千早赤阪村) 他



事前説明会  
応募フォーム

## 面接

令和8年7月1日(水曜日)  
富田林市きらめき創造館(予定)  
(富田林市常盤町16-11)

## 問い合わせ先

南河内農と緑の総合事務所農の普及課

【MAIL】 [minamikawachinotomidori-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:minamikawachinotomidori-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp)  
【TEL】 0721-25-1174

産地のプロガーから教える！

# 水なす+きくなアカデミー

募集人数:5名程度

大阪が全国に誇るブランド野菜「泉州水なす」と出荷量日本一の「きくな(しゅんぎく)」を学ぶ入門編です。泉州水なすときくなの輪作を中心に、農業経営が確立しているプロ農家の元で、栽培技術の実習を行います。地元のJAに出荷部会があるので、部会に参加することで、生産に専念することができます。



実習の様子

## 栽培実習

土づくり、は種・定植、収穫、肥培  
管理、病害虫防除、出荷調製など  
栽培全般

実習は週1回以上、  
4から6時間/回

貝塚市または泉佐野市の農業者  
のほ場



HP(募集要項)

## 座学研修

植物生理、営農計画の作成、  
農業経営など

全10回程度  
(2時間程度/回)

JA大阪泉州農産物直売所  
「こーたり～な」2階会議室  
(予定)



水なす+きくなアカデミー  
応募フォーム  
(8月開設予定)

## 事前説明会

(申込には事前説明会への参加が必須です)

令和8年8月22日(土曜日)10時から11時  
JA大阪泉州農産物直売所「こーたり～な」2階会議室  
(泉佐野市松風台3-1-1)

## 面接

令和8年9月12日(土曜日)  
JA大阪泉州農産物直売所「こーたり～な」2階会議室  
(泉佐野市松風台3-1-1)

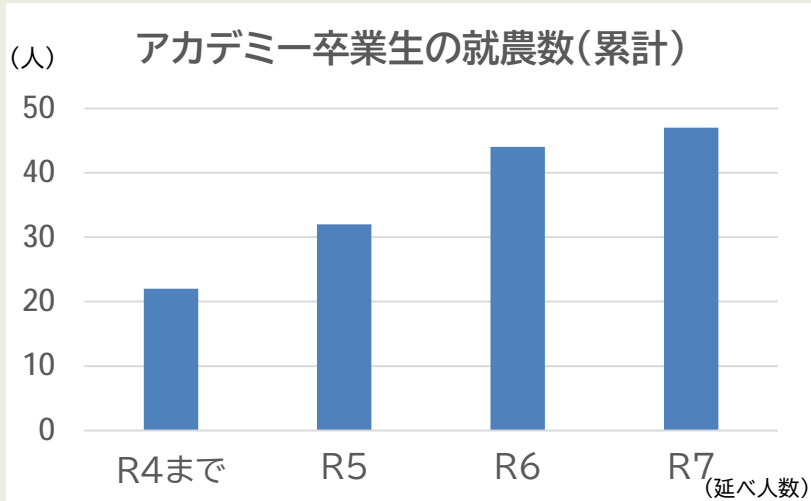
## 問い合わせ先

泉州農と緑の総合事務所農の普及課

【MAIL】 [senshunotomidori-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:senshunotomidori-g04@sbox.pref.osaka.lg.jp)  
【TEL】 072-439-0167

# 過去のアカデミーの実績

## アカデミー生による交流会



## 活躍しているOB



### 新規就農を志した経緯・背景

南河内産のいちごを食べて感銘を受け、大学を卒業後、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校に進学した。在学中にいちごアカデミーも並行して受講して、新規就農を志した。

### 就農に向けた農地、施設、補助事業の準備内容

農業大学校在学中、富田林市内のいちご農家の下でも研修を受ける。経営開始資金の受給及び経営発展支援事業の活用のため、富田林市と調整した。

## これまでの道のり

### 研修(R3年から4年)

- ・農業大学校(2年制)に進学
- ・いちごアカデミー受講
- ・先進農家のもとでアルバイト



### 就農準備(R4年から5年)

- ・農地の土壌改良を実施
- ・青年等就農計画の作成とパイプハウス等の設置
- ・青年等就農資金を申請



### 現在(就農3年目)

- ・面積15aで高設及び土耕でいちごを栽培
- ・労働力は本人1人
- ・ちはや姫の里の会、JA大阪南いちご部会に所属

## 責任の所在

### ①アカデミー実施期間中の損害について

アカデミー期間中の受講生の故意や過失等による事故、研修場所への移動途中での事故が原因の負傷について、実習受入農業者及び主催者はその責任を負いません。受講生自らの責任で傷害保険等への加入をお願いいたします。

### ②物品の破壊について

アカデミー期間中の受講生の責任に期すべき事由による機械、設備、備品等の破壊については、受講生がその損害を賠償するものとします。受講生自らの責任で賠償保険等への加入をお願いいたします。

### ③貴重品の管理について

アカデミー期間中の貴重品の管理は受講生自らの責任で行なってください。

## 個人情報の取り扱い

アカデミー受講生の審査、研修及び就農に際しての連絡調整、その他アカデミーの運営に関する目的以外には使用しません。

なお、就農支援にあたり必要な場合は、関係機関(就農を希望する市町村や農業委員会、(一財)大阪みどり公社等)に個人情報を共有する場合がございます。